

松江キャンパス在籍の学生、教職員の方々へ

「島根大学松江キャンパスの教職員および学生の健康疫学的研究」へのご協力

のお願い

研究機関名：島根大学保健管理センター松江

センター長：尾崎浩一

研究責任者：島根大学保健管理センター松江 准教授 杉原志伸

研究分担者：島根大学保健管理センター松江 教授 河野美江

1. 研究の背景および目的

近年、日本人の死亡原因として心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患が上位を占めています。その主な原因と考えられているものが生活習慣病です。生活習慣病の患者数は年々増加し、さらに10代の若い世代での発症が増加していることが報告されています。さらに、生活習慣病の発症には精神的なストレスと深い関連があることがわかってきました。

島根大学保健管理センター松江では、学生や教職員の方々の健康診断やストレスチェックの結果、および保健管理センターへの外来受診状況の関連を検討することで皆様の生活習慣病を含めた健康状況を調査し、この結果を踏まえ健康の維持、促進活動に役立てたいと考えています。

2. 研究の方法

研究対象者

- 1)2013年4月1日より2018年6月1日までに定期健康診断を受けた学生及び教職員(のべおよそ3万名)
- 2)2016年4月1日より2018年6月1日までにストレスチェック(職業性ストレス簡易調査票)を受けた教職員(のべおよそ3000名)
- 3)2013年4月1日より2018年6月1日までに保健管理センター松江を外来受診(内科、外科、婦人科、精神科、カウンセリング等)した学生及び教職員(のべおよそ3万5千名)

研究期間

2018年7月の倫理委員会承認後から2023年3月31日

研究方法

- 1) 定期健康診断結果、ストレスチェック結果、および保健管理センター松江への外来受診状況の関連を検討し、生活習慣病（肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病）の罹患率や生活習慣（喫煙、飲酒、運動習慣、朝食摂取の有無、睡眠時間）の実態を調査します。またそれらの経年的変化を分析し、健康問題の出現する頻度や経過に影響を与える因子を検討します。
- 2) 学生及び教職員群間で上記項目を比較検討し、年齢別の健康問題を分析します。

使用する情報

この研究では以下の情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して個人情報が漏洩しないように細心の注意を払います。データは特定の関係者以外が見ることはできません。

1)健康診断（学生・教職員共通項目）

年齢、性別、出身国、診断名、家族歴、既往歴、現病歴、治療内容、身長、体重、肥満度、血圧、脈拍、視力、診察所見、検尿検査、生活状況調査（健康診断受診表内で喫煙の有無、飲酒の有無、運動習慣の有無、朝食摂取の有無、睡眠時間の質問あり）

2)健康診断（教職員のみ項目）

腹囲、血液検査：貧血検査（血色素量及び赤血球数）、肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）、血中脂質検査（LDL コレステロール、HDL コレステロール、血清トリグリセライド）、血糖検査、心電図検査

3)ストレスチェック（教職員のみ）

「職業性ストレス簡易調査票」（57項目）における点数

4)センター外来診察状況（学生、教職員共通）

年齢、性別、出身国、診断名、家族歴、既往歴、現病歴、治療内容、身長、体重、肥満度、血圧、脈拍、診察所見、問診表、センターの対応

情報の保存

この研究に使用した情報は収集したデータは、研究の終了を報告してから少なくとも5年間、島根大学保健管理センター松江の外部から容易にアクセスできないPCに保管させていただきます。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者のみが閲覧可能です。

研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲

内でこの研究計画書の資料等を閲覧することができます。

この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして学会や論文で発表いたします。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、あなたやあなたのご家族の情報が研究に使用されることにご了承を頂けない場合は研究対象とはいたしませんのでお申し出ください。この場合も健康診断やストレスチェック、保健管理センターでの診察、サービスにおいて不利益が生じることは決してありません。

3. お問い合わせ先

島根大学保健管理センター 松江

研究代表者 杉原志伸

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL：32-6568 FAX：32-6497

2018年6月22日作成